

事務事業名	若草保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部	単位番号	5154				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	若草保育所	課長名	伊井 和美				
			所属担当	若草保育所	担当者名	伊井 和美				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 04	細目 090	細々目 06
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	28	児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例・南アルプス市立保育の実施に関する条例施行規則					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 保育所嘱託医報償、講師謝礼、職員旅費、教材事業等消耗品、世代間交流事業食糧費、保育証書等印刷代、修了記念アルバム代、教材・器具等修繕料、贈材料費、児童ぎょう虫・尿・寄生虫検査料、職員腸内細菌検査料、楽器・ピアノ調律、職員研修負担金、児童保育所に関わる運営経費。児童数の増加・減少が影響する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償費 235 旅費 13 需用費 10,974 役務費 306 負担金、補助及び交付金 10 計 11,538						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 予算の執行 児童に関わる各種事業の執行 27年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 予算額 円 イ 各種事業数 数 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	① 入所児童	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 児童数 人 イ 世帯数 件 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	① 保育所保育指針・運動指針に沿った保育活動の実施	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 在所児童数 人 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	子どもの育ちを支える保育環境づくり	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 保育所に満足している保護者率 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	12,758	13,052	12,394	13,645	13,645		
	人件費	事業費計(A)	千円	12,758	13,052	12,394	13,645	13,645	0	0
		正規職員従事人数	人	8	8	8	7	7		
		延べ業務時間	時間	1,896	1,862					
		人件費計(B)	千円	8,629	8,474	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	21,387	21,526	12,394	13,645	13,645	0	0
活動指標	ア	円	12,726.0	13,052.0	12,394.0	13,645.0	13,645.0			
	イ	数	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0			
対象指標	ア	人	163.0	151.0	148.0	150.0	150.0			
	イ	件	134.0	119.0	120.0	120.0	120.0			
成果指標	ア	人	163.0	151.0	148.0	150.0	150.0			
	イ									
上位成果指標	ア	%	90.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	若草保育所は昭和40年4月、若草町立保育園として認可設立、昭和53年藤田保育園が現在に地移転し定員90名、平成2年定員130名、現在定員150名である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	定員を増やしたことで、改築工事をしたが、入所児童も多く、遊戯室を保育室として使用している現状である。現在、児童は減少傾向にあるが未満児(0,1歳児)の入所希望は特に増加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保育及び子育て支援に対して、安全安心な子育て環境が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	効果的、効率的な保育事業(夏祭り、運動会、生活発表会、祖父母との交流会、保育参観、体育遊び等)を目指して運用を実施している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	保護者からの苦情も無く、連携をとり信頼関係作りに努めた

事務事業名	若草保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	若草保育所
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づき児童福祉の充実が、安心して子育てできる環境づくりのために必要である
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 これから南アルプス市の未来を担っていく児童を育てていくためには、公共性のある施設の公正なサービスは、福祉を充実していくために今後も必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業の必要性は高く、今後も保育目標に合った事業を行う
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費で大きな成果につながることもあるため、子供たちの情操教育を重視し読み聞かせや食育に対しても積極的に取り入れる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保護者が安心して子どもを預けることができない 職員及び児童数に応じての活動費なので休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在最小限の経費のためこれ以上の削減は出来ない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童数・延長事業に対する職員数なので、削減余地はない。 (児童数151名、保育士正職員7名・臨時職員8名・臨時調理員3名)
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 職員及び児童数に応じての保育活動費なので、入所児童に公平公正化である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童福祉をより充実して行うために子供たちの情操教育に力を入れて今後も事業を行う。また、子供たちが元気に保育所生活を送れるような事業を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 保育士と子供の保われる時間を多く取れるような事業や、地域との連携も含めた特色ある保育を心がける。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 事務事業を効率的に行い保護者の理解を得ることや地域と保護者の人材を有効活用する。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					